

震災からの復興を願って

札幌・白石ライオンズクラブが時計を寄付

3月12日、東日本大震災で損壊した益岡公園野球場のソーラー式時計が、札幌白石ライオンズクラブ(門馬靖倫会長)と白石ライオンズクラブ(佐藤善一会長)から市に寄付され、新たに設置されました。

時計の設置は、札幌白石ライオンズクラブから公園などの震災復興に役立ててほしいと50万円の寄付申し出があり、白石ライオンズクラブが10万円の寄付を加え実現。白石高校野球部の佐藤智輝部長は、「バッティング練習の時によく時計を見るので、時計が直ってとても助かります」とうれしそうに話してくれました。



▲新たに設置された時計の前で練習に励む選手たち

楽しみながら体を動かす

第二児童館でダンスの会

3月13日、「モモクロで遊ぼう！ ダンスの会」が第二児童館で行われました。この日は、第二児童館に通う小学1年～4年の児童約20人がダンスの会に参加。あしたば白石「骨盤&股関節改善体操」の指導などを行っている八巻奈美子さんが、人気アイドルグループのヒット曲に合わせて児童たちにダンスを指導しました。

児童たちは、初めは少し緊張した表情で踊っていましたが次第に笑顔も。参加した児童は、「初めははずかしかつたけど、踊ってみたらとても楽しかったです。新しいダンスにも挑戦したいです」と笑顔で話していました。



▲曲ののってリズムカルに動き、ダンスを楽しむ児童たち

高い場所での救助や消火に期待！

白石消防署が屈折はしご付き消防自動車を配備

3月25日、白石消防署に県内初の「屈折はしご付き消防自動車」が配備され、市役所前でお披露目されました。この消防車は、先端にバスケットが付いたはしごに当たる部分が最大で地上25mまで伸び、屈折するのが特徴。電柱や電線、屋上フェンスなどの障害物を回避でき、また地表から6mまで降下が可能で、橋や崖上からの救助活動を行うことができます。消火作業では、毎分1,168ℓの放水が可能で、高所放水車としての活躍も期待されます。勝又良白石消防署長は「市民の皆さんの安全・安心を守っていききたい」と話していました。



▲市役所前でお披露目された屈折はしご付き消防自動車

100歳おめでとうございます

鈴木正作さんに松竹梅敬老祝金を贈呈

3月27日、満100歳を迎えた鈴木正作さんを風間市長が訪ね、祝詞と松竹梅敬老祝金を贈り長寿を祝福しました。正作さんは美里町(旧南郷町)のご出身で、若いころは満州に渡り、帰国後は不忘に住み開拓に明け暮れたそうです。長年、酪農に従事しながら3人の子どもを育て、現在は孫が3人、ひ孫が8人。現在は週3回デイサービスに行き、家にいる時は、本や新聞を読んで過ごされています。長生きの秘訣は好き嫌いをせず何でも食べることという正作さん。この日は、ご家族で正作さんの長寿をお祝いしました。



▲正作さんと記念撮影をするご家族と風間市長

これからも交通死亡事故ゼロを目指す！

交通死亡事故ゼロ2年を達成！ 県警本部交通部長から褒状



▲長尾交通部長(前列右から2番目)と記念撮影をする関係者の皆さん

4月3日、交通死亡事故ゼロを達成した本市に、森田幸典宮城県警察本部長から褒状が贈られました。この日は、長尾徳光県警交通部長が風間市長に褒状を手渡し、「市民の皆さんや交通安全に携わる皆さんが一体となって事故対策に取り組んだ努力の賜物で敬意を表します」とあいさつ。風間市長は「市民の皆さんの心掛けや交通安全活動を行っている団体の皆さんの活動の成果。これからも死亡事故ゼロを目指します」と話しました。平成23年3月31日に発生した事故以降、本市では交通死亡事故は発生していません。安全運転を心掛けましょう。

手をつなぐ仲間や家族がいる

白石市手をつなぐ育成会・卒業を祝う会



▲卒業生を囲んで記念撮影

3月17日、障がいを持つ子どもとその家族でつくる「白石市手をつなぐ育成会」(巨泉猛会長)の「卒業を祝う会」が中央公民館で開催されました。この春、小学校を卒業し、中学校や支援学校に進む5人の児童に記念品が贈呈されたほか、両親や在校生などからお祝いのメッセージが寄せられました。巨泉会長は、「楽しいことや大変なこともあると思いますが、一つ一つ経験を積み重ねて、何事にもチャレンジしてください」とあいさつ。武田教育長が「卒業する時に、みんなががんばったことを報告できるといいですね」とエールを送りました。

交通事故防止の願いを込めて

第27回交通安全さくらメール作戦出発式



▲高齢者の無事故を願い、983通のはがきが届けられました

4月10日、春の交通安全県民総ぐるみ運動の一環として、「第27回交通安全さくらメール作戦」の出発式が日本郵便株式会社白石郵便局駐車場で行われました。この作戦は、高齢者を交通事故から守ることを目的に、白石第一・第二小学校の児童が自分の祖父母あてに、交通事故防止の願いを込めたはがきを贈っているもの。大和田尚白石郵便局長は、「児童の思いを受け取り、一通一通心を込めて届けます」とあいさつし、白石地区交通安全協会など約40人が見守り中、はがきを乗せたバイクが出発していきました。

白石の魅力が詰まった体操が大人気！

白石うーめん体操動画完成発表会



▲「温麺のPR効果を期待したい」と話す吉見理事長(左)

3月29日、「白石うーめん体操動画完成発表会」が市役所で行われました。これは、奥州白石温麺協同組合(吉見光宣理事長)がこの歌のCD化を決定したことに呼応する形で、市が動画制作を進めたもの。PR用の動画を制作するため総勢約500人に踊ってもらい、楽しく元気な動画が完成しました。市は、3月29日からインターネット動画共有サイト「ユーチューブ」で配信を開始。白石の魅力が詰まった歌や踊りが人気を集め、これまで約1万回の再生を記録しました。練習用の別の動画も公開しています。ぜひご覧ください。